



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大久保 信隆

TEL 03-5323-0231

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,753	1.4	599	171.0	663	221.9	432	557.9
2022年3月期第1四半期	19,481	18.5	221		206		65	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,737百万円 (31.2%) 2022年3月期第1四半期 2,085百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.30	
2022年3月期第1四半期	1.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	106,755	56,375	51.0
2022年3月期	104,865	54,466	50.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 54,482百万円 2022年3月期 52,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	0.6	3,000	0.7	2,900	12.3	2,100	24.6	35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	63,060,164 株	2022年3月期	63,060,164 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	3,865,040 株	2022年3月期	3,865,040 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	59,195,124 株	2022年3月期1Q	59,195,556 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、徐々に景気持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念などの影響により、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、ウクライナ情勢の長期化や、新型コロナウイルス感染拡大による一部地域でのロックダウンなどがサプライチェーンの混乱や、原材料費、エネルギー価格の高騰を招き、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、半導体不足やサプライチェーンの混乱による自動車メーカーの生産減が続くなど、世界全体での自動車販売は低調に推移しております。

当社グループは、世界全体での低調な自動車販売状況の中、中国における売上の伸長や海外での為替による増収などにより、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は197億53百万円（前年同四半期比1.4%の増収）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加の影響などにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益は5億99百万円（前年同四半期比171.0%の増益）となりました。また、営業利益の増加などにより、経常利益は6億63百万円（前年同四半期比221.9%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億32百万円（前年同四半期比557.9%の増益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

国内の自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少したことにより、売上高は108億33百万円（前年同四半期比5.9%の減収）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は2億48百万円（前年同四半期比31.9%の減益）となりました。

(中国)

中国の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は45億2百万円（前年同四半期比24.5%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、生産効率の改善等の影響などにより、セグメント利益は4億32百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント利益）となりました。

(東南アジア)

タイの自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は33億90百万円（前年同四半期比2.8%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、タイパーツが対米ドルで通貨安に推移したことや生産効率の改善等の影響などにより、セグメント利益は3億78百万円（前年同四半期は10百万円のセグメント損失）となりました。

(欧米)

欧州、米国共に、自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少し、売上高は10億26百万円（前年同四半期比3.3%の減収）となり、セグメント利益は47百万円（前年同四半期比8.5%の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、557億91百万円となりました。これは、主に商品及び製品が18億13百万円増加し、現金及び預金が15億6百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、509億31百万円となりました。これは、主に有形固定資産が17億6百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、1,067億55百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、338億53百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が2億94百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、165億26百万円となりました。これは、主に長期借入金が2億56百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.0%減少し、503億80百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、563億75百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が21億86百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,879	14,373
受取手形及び売掛金	17,948	16,902
電子記録債権	4,427	4,291
商品及び製品	9,621	11,435
仕掛品	3,673	4,010
原材料及び貯蔵品	2,775	3,580
その他	1,337	1,240
貸倒引当金	△40	△42
流動資産合計	55,623	55,791
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,212	12,531
機械装置及び運搬具（純額）	17,721	18,606
土地	7,758	7,786
建設仮勘定	3,251	3,683
その他（純額）	1,259	1,303
有形固定資産合計	42,204	43,911
無形固定資産		
のれん	58	54
その他	341	344
無形固定資産合計	400	398
投資その他の資産		
投資有価証券	2,975	2,956
退職給付に係る資産	1,221	1,228
その他	2,433	2,465
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,602	6,621
固定資産合計	49,206	50,931
繰延資産		
社債発行費	35	32
繰延資産合計	35	32
資産合計	104,865	106,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,506	12,801
電子記録債務	2,458	2,305
短期借入金	14,328	14,528
1年内償還予定の社債	42	42
未払法人税等	356	220
賞与引当金	748	916
災害損失引当金	46	5
その他	3,148	3,032
流動負債合計	33,637	33,853
固定負債		
社債	3,608	3,608
長期借入金	11,824	11,567
退職給付に係る負債	117	127
資産除去債務	454	452
その他	755	770
固定負債合計	16,761	16,526
負債合計	50,398	50,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,962	16,962
利益剰余金	13,411	13,014
自己株式	△3,135	△3,135
株主資本合計	49,543	49,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	949
為替換算調整勘定	1,977	4,163
退職給付に係る調整累計額	235	220
その他の包括利益累計額合計	3,172	5,334
非支配株主持分	1,750	1,893
純資産合計	54,466	56,375
負債純資産合計	104,865	106,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,481	19,753
売上原価	17,029	16,797
売上総利益	2,452	2,955
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	808	881
賞与引当金繰入額	101	57
退職給付費用	6	5
貸倒引当金繰入額	△13	△0
その他	1,329	1,412
販売費及び一般管理費合計	2,231	2,356
営業利益	221	599
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	41	66
受取賃貸料	19	18
為替差益	7	32
その他	50	36
営業外収益合計	120	155
営業外費用		
支払利息	51	58
支払手数料	35	3
租税公課	38	17
その他	10	11
営業外費用合計	135	91
経常利益	206	663
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	31	40
特別損失合計	31	40
税金等調整前四半期純利益	174	623
法人税等	72	167
四半期純利益	102	455
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	432

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	102	455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△9
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	1,871	2,306
退職給付に係る調整額	△13	△14
その他の包括利益合計	1,983	2,282
四半期包括利益	2,085	2,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,833	2,594
非支配株主に係る四半期包括利益	252	142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	11,506	3,617	3,296	1,061	19,481	—	19,481
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,506	3,617	3,296	1,061	19,481	—	19,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	271	3,320	2,599	—	6,191	△6,191	—
計	11,777	6,938	5,896	1,061	25,673	△6,191	19,481
セグメント利益 又は損失(△)	364	2	△10	51	407	△186	221

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△186百万円には、セグメント間取引消去122百万円、全社費用△308百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	10,833	4,502	3,390	1,026	19,753	—	19,753
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,833	4,502	3,390	1,026	19,753	—	19,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	212	3,955	3,730	—	7,899	△7,899	—
計	11,046	8,458	7,121	1,026	27,652	△7,899	19,753
セグメント利益	248	432	378	47	1,106	△506	599

(注) 1. セグメント利益の調整額△506百万円には、セグメント間取引消去△206百万円、全社費用△300百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。